

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	沖縄国際大学
設置者名	学校法人 沖縄国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
法学部	法律学科	夜・通信	10		24	70	13	
	地域行政学科	夜・通信			4	50	13	
経済学部	経済学科	夜・通信	10		34	80	13	
	地域環境政策学科	夜・通信			4	50	13	
産業情報学部	企業システム学科	夜・通信	0		2	38	13	
	産業情報学科	夜・通信			39	75	13	
総合文化学部	日本文化学科	夜・通信	36		31	67	13	
	英米言語文化学科	夜・通信			34	70	13	
	社会文化学科	夜・通信			10	46	13	
	人間福祉学科 社会福祉専攻	夜・通信			0	36	13	
	人間福祉学科 心理カウンセリング専攻	夜・通信			16	52	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.okiu.ac.jp/academic/lecture/syllabus/sy2019>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沖縄国際大学
設置者名	学校法人 沖縄国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.okiu.ac.jp/about/yakusyokuin>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市長	2018.12.1 ～ 2020.7.31	行政経験を活かした 地域連携の推進 等
非常勤	元高等学校長	2019.4.1 ～ 2022.3.31	教育行政経験を活かした 大学運営への 助言等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄国際大学
設置者名	学校法人 沖縄国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  授業計画(シラバス)作成について学内掲示板にて、記入要領を添付し依頼を行っている。                  作成時期は年度末に行い、公表時期は3月末に、学内掲示板およびホームページ上にて公表を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.okiu.ac.jp/academic/lecture/syllabus">https://www.okiu.ac.jp/academic/lecture/syllabus</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則で定めているほか、シラバスでも評価項目を設けて厳格かつ適正に単位授与を行っている。</p> <p>学則                  第27条 各授業科目に対する課程修了の認定は試験によるものとし、試験は各学期末又は学年末においてそれぞれの履修科目について行い、学修の評価は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。                  2 前項の定期試験のほかに臨時に試験を行うことがある。                  第28条 試験の方法は、筆記試験、口述試験及び論文等とする。ただし、演習、実験、実習及び実技等については、平常の学修の成果により認定することができる。                  第29条 試験の成績は、秀、優、良、可、不可の5段階に分け、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  客観的な指標の設定は、成績評定平均値 (GPA) に関する規程にて定めている。  第4条 評価された成績の段階ごとに、次に掲げるGPを配点する。</p> <p>(1) 秀 A (90~100) GP = 4  (2) 優 B (80~89) GP = 3  (3) 良 C (70~79) GP = 2  (4) 可 D (60~69) GP = 1  (5) 不可 F (0~59) GP = 0</p> <p>GPAの計算方法  <math>GPA = (GP \text{ 値} \times \text{単位数}) \text{の総合計} \div \text{履修登録総単位数}</math></p> <p>客観的な指標の公表は、ホームページにて公表している。</p> <p>成績の分布状況の把握は、学科・学年ごとにGPA分布及び下位4分の1のGPAを把握。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.okiu.ac.jp/academic/lecture/gpa">https://www.okiu.ac.jp/academic/lecture/gpa</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)  本学における所定の教育課程を終え、〈学士〉を授与される学生は、以下の資質を有する人物です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが生きる社会をより深く理解するために、多様な観点と専門的知識を備えた人物。</li> <li>2. 自ら課題を発見し、主体性と協調性をもって解決できる人物。</li> <li>3. 自らの社会的責任を自覚し、自立した人物。</li> </ol> <p>また、各学科においても、ディプロマ・ポリシーを定めている。</p> <p>卒業の要件、卒業判定については、学則第6条 本学に4年以上在学し、所定の単位数を取得した者に対して、教授会の議を経て学長が卒業を認定。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	沖縄国際大学
設置者名	学校法人 沖縄国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018">https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018">https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018</a>
財産目録	<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018">https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018</a>
事業報告書	<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018">https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018">https://www.okiu.ac.jp/about/accounts/accounts-2018</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画 対象年度: 2019(平成31)年度)
公表方法: <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/annual_plan">https://www.okiu.ac.jp/about/annual_plan</a>
中長期計画(名称: 第3次中長期経営計画 対象年度: 平成29年度~平成37年度)
公表方法: 非公表

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/self-inspection">https://www.okiu.ac.jp/about/self-inspection</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/self-inspection">https://www.okiu.ac.jp/about/self-inspection</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 法学部
教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu</a> )
(概要) 法学部 : 法学部は、法の解釈を通じて論理的な思考力・表現技法を身につけるとともに、良識ある政治・法・社会のあり方への理解を深め、責任ある市民意識を涵養することを教育研究上の目的として、豊かな人間性と専門的知性を備えた人材を養成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : (全学) <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a> )
(概要) 法律学科 : (公表方法 : <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/houritsu/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/houritsu/policy</a> ) 本学科では、法的思考能力(リーガルマインド)を備え、現実の社会におけるさまざまな問題に対して、柔軟かつ適切な解決策を導き出すことのできる人材の育成を教育目標とし、学位を授与します。 1. 法学に関する基本的知識および専門的知識を修得している人物。 2. 社会に生起する諸問題をさまざまな視点から分析し、その解決の方向や方策を法的思考に基づいて模索する能力を身につけている人物。 3. 多様な価値観を尊重しつつ、他者との協力・協同の中で、社会の発展に寄与することができる能力を身につけている人物。 地域行政学科 : (公表方法 : <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/chikigyosei/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/chikigyosei/policy</a> ) 本学科において所定の卒業単位を取得し、以下の能力を身につけた者に対して、学士(法学)の学位を授与します。 1. 行政学、政治学、法律学を中心として、地方自治体および民間で活躍するために必要な知識を有している人物。 2. 「パブリック・インタレスト(公共利益)」を十分に理解し、地域づくりに取り組むことができる人物。 3. 地域社会が直面している諸問題を的確に理解し、その解決方法を提案することができる人物。 4. 地域づくりにおけるリーダーとなるために欠かせない知識とコミュニケーション能力を身につけている人物。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : (全学) <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a> )
(概要) 法律学科 : (公表方法 : <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/houritsu/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/houritsu/policy</a> ) 本学科では、その教育目標を達成するために、法学の基礎となる憲法、民法、刑法を必修科目とした上で、基礎法(法哲学、法史学など)、行政法(行政法、情報公開法など)、政治学(政治学原論、行政学など)、刑事法(刑事訴訟法、刑事政策など)、民事法(商法、民事訴訟法など)、社会法(労働法、社会保障法など)、国際関係・外国法(国際法、外国法など)といったそれぞれの分野において、伝統的な法律・法制度から現代的な諸問題に対処するための法律・法制度まで、学生がそれぞれの興味に応じて履修することを可能とすることをカリキュラム編成の基本方針としています。

その上で、法律学科では、以下のようなカリキュラムを編成しています。

#### 1. 4年間一貫した少人数ゼミの編成

本学科では、4年間を通じて常に少人数で編成される演習科目を必修科目としています。これによって、教員との積極的な交流を通じて、一般的、基礎的教養の取得（基礎演習Ⅰ：1年次）、自らが興味を持つ学問領域に対する意識向上（基礎演習Ⅱ：2年次）、1つの分野を掘り下げて研究することを通じた専門的知識の取得（専門演習Ⅰ・Ⅱ：3・4年次）を図っています。

#### 2. 就職・資格取得意識向上のための独自のプログラムの編成

本学科では、全学で行われているインターンシップの他、法学検定試験や法律に関係の深い資格試験について、専門科目として開講されている「法務研究」などにおいて、試験対策を講じながら資格取得意識の向上を図っています。

#### 3. 学生の希望に応じた柔軟なカリキュラム選択

本学科では、憲法、民法、刑法など、法学の基礎となる講義科目、および少人数で編成される演習科目については必修とするが、それ以外の科目については、すべて選択科目とし、志望する進路や学問的興味・関心に応じて、自由に選択することができるようにしています。また、自分がどの科目を選択・履修すればよいか分からない学生のために、進路志望に応じた複数の履修モデルをあらかじめ提示することによって、学生に対して利便を図っています。

#### 地域行政学科：

(公表方法 <https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/chikigyosei/policy>)

本学科では、地域社会の発展に貢献できる人材を育成するため、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 地域づくりに積極的に参画し、地域社会を牽引するリーダーを育むため、豊富な専門科目（行政科目、政治科目、法律科目）を開設し、初年次から受講できるようにしています。
2. より深い見識を身につけ、広い視野から物事を思考する能力を養うため、多様な教養科目を学べるようにしています。
3. 「パブリック・インタレスト（公共利益）」や地域社会が抱える課題に対する認識を深め、これらの課題を解決する方法を見出すため、行政学、地域行政論、公共事業論などの科目を配し、段階的に学べるようにしています。
4. 理論だけではなく、これを実践する現場の状況を理解するため、地域づくりの最前線で活躍している地方自治体の首長、議員、職員、NPO 団体スタッフ等を講師として招き、理論と実務の双方を学ぶ機会を提供しています。
5. コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養い、高度な専門的知識を習得するため、各年次に応じて段階的にゼミナールを設置し、少人数制教育を実践しています。
6. 学生のキャリア形成を支援するため、複数の履修モデルを設定し、学生自身が希望の進路に沿ったカリキュラムを選択できるようにするとともに、特に、志望者の多い地方自治体の職員、警察官等を目指す学生のため、試験対策科目を開講して、試験勉強に意欲的かつ効率的に取り組める態勢を調べられるよう支援しています。



<p>入学者の受入れに関する方針(公表方法:(全学)<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a>)</p> <p>(概要)</p> <p>法律学科：(公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/houritsu/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/houritsu/policy</a>)</p> <p>法律学科は、現実の社会において発生する様々な問題について論理的かつ合理的に考えることができる法的思考能力（リーガル・マインド）を持ち、さらにその能力をもちいて、これらの問題に対して柔軟かつ適切な解決策を導き出すことができる人材の育成を目指しています。そのため、特に以下の点について、十分な適性と意欲を持った志願者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会の動きに広く関心を持っている人物。</li> <li>2. 物事を柔軟かつ論理的に考え、それを的確に表現できる人物。</li> <li>3. 高い志と正義感、忍耐力を有する人物。</li> </ol> <p>AO型入学試験では、志願者の自己推薦ポイント（人間性、活動実績、将来への夢・希望など）が、これから法律学科で学んでいく上でどのような意義をもつかを、みなさん自身の言葉で明確に表現できることが望まれます。</p> <p>地域行政学科：</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/chikigyosei/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/hougakubu/chikigyosei/policy</a>)</p> <p>本学科では、入学者に対して、高校卒業程度の基礎学力を身につけていることに加えて、特に以下の点について適性と意欲を持っていることを望みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会の出来事から、広く世界の情勢にまで関心を持ち、常に問題の本質を見極めようと努力する人物。</li> <li>2. 何事に関しても、しっかりとした自分自身の考え方を育てるように学習し、同時に、他者との意見交換を通して、議論を建設的に発展させ、異なる考え方からも学ぼうと努力する人物。</li> <li>3. 将来、自ら選んだ職業を通して地域に貢献することを希望し、それへ向けての努力を厭わない人物。</li> </ol> <p>地域行政学科は、行政・民間部門において政策を企画・立案し、実務に対応できる人材、より深い見識と広い視野を身につけ、地域社会の発展に貢献できるような人材の育成を目指します。</p> <p>特にAO型入学試験において、私たちは高い志を有し、地域や社会の動きに目を向け、行動力を有する情熱ある志願者を求めます。</p> <p>これまでの勉強や部活動で得たもの、あるいはこれからの夢を、自分の言葉で表現できる能力を高く評価します。</p>
--

<p>学部等名 経済学部</p> <p>教育研究上の目的(公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai</a>)</p> <p>(概要)</p> <p>経済学部：</p> <p>経済学部は、社会経済の自立と持続そして発展に寄与することを教育研究上の目的とし、社会の経済と環境についての専門的知識を有し、教養ある人材を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針(公表方法:(全学)<a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a>)</p> <p>(概要)</p> <p>経済学科：(公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/keizai/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/keizai/policy</a>)</p> <p>経済学科では、「社会経済の自立と国際社会の発展に寄与すること」の教育研究目標のもと、社会人として諸問題を解決していくために求められる基本的な資質である「知識」、「考察力」、「表現力」を有することを学位授与の方針としています。具体的には以下のようになります。</p>

1. 「知識」経済学の基礎的・専門的知識を修得している人物。
2. 「考察力」経済・社会の問題を論理的に考察する力を有している人物。
3. 「表現力」自らの意見を明確に筋道立てて説明する能力を有している人物。

地域環境政策学科：（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/chiiki/policy>）  
本学科における所定の教育課程を終え、以下の資質を有する人物に対して、学士（地域環境政策学）の学位を授与します。

1. 自らが生きる社会をより深く理解するために、地域経済と環境政策に対する専門的な知識を備えた人物。
2. 地域の経済や環境に関心を持ち、地域社会及び世界へ貢献できる人物。
3. 自ら課題を発見し、主体性をもって解決でき、社会的責任を自覚した人物。

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：（全学）<https://www.okiu.ac.jp/about/policy>）

（概要）

経済学科：（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/keizai/policy>）

経済学科のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーを保証するため、以下のような方針のもとに編成されています。

1. 1年次は、専門分野を学ぶための基礎学力を身につけることに重点を置く。また、専門分野以外の多様な知識を学びます。
2. 2年次は、経済学の専門科目を学ぶ上で必要となる経済学の基礎を修得します。
3. 3年次・4年次は、経済に関する幅広い科目を修得する。また、主体的に調査・研究し、報告・議論する能力を身につけます。

地域環境政策学科：

（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/chiiki/policy>）

本学科は、経済と環境の視点から地域を考えることを通して、実社会において、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献できる人材の育成を目指すことを目的としています。そのために、地域経済と環境政策の両分野を融合させ、経済学を基礎に、環境の保全と資源の利用やあり方について理解を深めるために、以下の教育を展開します。

1. 専門科目を受講する前には、統計学、経済学入門、環境科学、および大学生として身につけるべき語学、コンピュータなどの基礎科目を提供。
2. 地域経済の問題解決に必要な経済学関連の科目を提供。
3. 地域社会にとって望ましい環境水準を作り出すための環境政策への理解を深める環境関連の科目を提供。
4. 地域経済や環境問題への理解をさらに深めるために、書物では体験できない、ITを活用した科目、また地域セミナーなどの実体験できる科目を提供。
5. 専門職業人として活動するのに役立つ資格科目の提供。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：（全学）<https://www.okiu.ac.jp/about/policy>）

（概要）

経済学科：（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/keizai/policy>）

経済学科は、社会経済における諸問題に、目的意識を持ち意欲的に取り組む人材の育成に努めています。そのために、以下のような志願者を求めます。

1. 高等学校卒業程度の基礎学力を有する人物。
2. 経済・社会を含めた諸問題に関心がある人物。

A0型入学試験では上記に加えて、経済・社会を含めた諸問題に強い関心を持ち、何らかの解決策を導き出すための「想像力・創造力・表現力」を有する人物を求めます。

地域環境政策学科：(公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/keizai/chiiki/policy>)  
 地域環境政策学科では、経済の視点から地域と環境を考えることを通して、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献し、持続可能な社会を創造できる人材の育成を目指しています。そこで、本学科では、次の1～5について自らの言葉で説明できる志願者を求めています。

1. 沖縄及び世界の経済や環境に広く関心がある人。
2. 沖縄地域の経済や環境を含めた、沖縄の過去・現在・未来に関心がある人。
3. 様々なフィールド（現場）に出て、積極的に活動することが好きな人。
4. 社会で起きている様々な事柄に関心を持ち、地域社会及び世界へ貢献したいという熱意のある人。
5. 大学の授業に耐えうる基礎学力を有し、勉学に対する意欲がある人。

特に A0 型入学試験では、一般試験だけでは測ることが難しい多様な資質を有する学生を受け入れるため、コミュニケーション能力が高く、上記の1～5について自らの言葉で表現でき、学内外の活動に積極的に取り組んだ実績があり、それらの活動が、本学科で学ぶ上でどのような意味を持つのかを説明できる志願者を求めます。

学部等名 産業情報学部
-------------

教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho</a> )
---

(概要)
------

産業情報学部：
---------

産業情報学部は、情報化、国際化が進展する潮流の下、「個性と創造性の尊重」、「自律的学習態度の育成」、「倫理観等人間性教育の重視」、「基礎理論・基本技術に基づく専門教育と研究の高度化」、そして、「地域の自立と国際性の涵養」等を教育研究の目的とし、IT（情報技術）を用いた高度な情報活用能力等の陶冶を通じて、地域産業分野を活性化し又は創造できる情報化人材の育成、並びに、企業経営における高度な経営情報分析能力や国際的ビジネス感覚等を身につけたビジネススペシャリスト等を養成する。
---

卒業の認定に関する方針 (公表方法：(全学) <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a> )
--

(概要)
------

企業システム学科
----------

(公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/kigyosystem/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/kigyosystem/policy</a> )
--

企業システムの基礎及び専門領域における知識を習得し社会のグローバル化に対応できる人材、さまざまなビジネス課題を分析し提言できる人材、自らの社会的責任を自覚し積極的に貢献できる人材に対して、学位を授与します。
---

産業情報学科
--------

(公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/sangyojoho/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/sangyojoho/policy</a> )
--

産業経済および情報科学の基礎および専門領域における知識を習得し、現代社会の情報化・国際化に対応できる人材、さまざまな産業社会の課題を分析し提言できる人材、自らの社会的責任を自覚し積極的に貢献できる人材に対して、学位を授与します。
--

教育課程の編成及び実施に関する方針
-------------------

(公表方法：(全学) <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a> )
--

(概要)
------

企業システム学科
----------

(公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/kigyosystem/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/kigyosystem/policy</a> )
--

- |   |
|---|
| 1. マーケティング・経営・会計を中心に、ビジネスにおける基礎的な知識とグローバル |
|---|

ビジネスなどの多面的かつ総合的な視点をもった人間を育成する専門科目を提供します。

2. 課題への取り組みを通して、深い専門性に加え、理解力・表現力・問題解決能力を身につける演習科目を提供します。
3. 地域企業への関心と社会貢献への意欲を高める教育、実学を志向した教育を提供します。

#### 産業情報学科

(公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/sangyojoho/policy>)

1. 現代社会における産業および経済に関する諸課題に対する問題発見力・分析力を有し、近未来に対する解決力・創造力を養うための専門科目を提供します。
2. 情報科学・情報システム・経営情報・経済情報を学び、実社会で活躍できる人材を育成する専門科目を提供します。

入学者の受入れに関する方針(公表方法:(全学)<https://www.okiu.ac.jp/about/policy>)

(概要)

#### 企業システム学科

(公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/kigyosystem/policy>)

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指し、「マーケティング」「経営」「会計」の3分野を柱に専門的、体系的に学んでいきます。よって、本学科では以下のような志願者を求めます。

1. 基礎的な教養を身につけ、自分自身のスキルや能力を鍛える意志を持っている人物。
2. 企業システム学科で学びたい事を自覚し、表現できる人物。
3. 大学卒業後のビジョンを抱き、地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物。

さらに、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をAO型入学試験によって受け入れ、その資質を開花させるために必要な教育を通して将来のビジネス社会で活躍できる人材育成を行います。AO型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

1. 他者に誇れる活動や実績等を有している人物。
2. 企業システム学科で学びたい事を明確にアピールできる人物。
3. 大学卒業後のビジョンを抱き、自己研鑽ができる人物。

#### 産業情報学科

(公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sangyojoho/sangyojoho/policy>)

1. 将来の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人物。
2. 情報科学や産業・経済に興味があり、産業情報学科で学びたいことを明確に持ち、意欲的・主体的に勉学に励むことのできる人物。

#### AO型入学試験のアドミッション・ポリシー

産業情報学科では産業社会(経済・金融・企業経営など)の基本的なしくみと情報技術について学び、経済活動や日常生活と情報技術の深い結びつきを理解することで、個人が地域社会において果たすべき役割について認識を深めます。

理論と実践が融合したカリキュラムにより、あらゆる産業分野において情報化を推進する「産業の情報化」、情報技術を基に企業や産業の創出・発展を企画し実行する「情報の産業化」が担える人材の輩出を目標としています。

また、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をAO型入学試験によって受け入れ、個性に柔軟に対応した教育を行い、多元的な社会で活躍できる人材を育成します。

AO型入学試験では、

特に、次のような志願者を求めます。

1. 他者に誇れる活動を行った、あるいは行っている人
2. 産業情報学科で学びたい事を明確にアピールできる人
3. 大学卒業後の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人

学部等名 総合文化学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka</a> ）
<p>（概要）</p> <p>総合文化学部： 総合文化学部は、人間・社会・文化を総合的に理解することを教育研究上の目的とし、豊かな知性と感性を持つ人材を養成します。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：（全学） <a href="https://www.okiu.ac.jp/about/policy">https://www.okiu.ac.jp/about/policy</a> ）
<p>（概要）</p> <p>日本文化学科（公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/nihon/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/nihon/policy</a>） 日本文化学科は、日本文化及び琉球文化に対する造詣を深めるための理論的、かつ実践的な教育を通して、「ことばのプロ」として国際社会、地域社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的としており、以下の知識、能力を身に付けるに至った人物に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.広い領域の知識に興味・関心を持ち、変化する社会に適用できる地域のリーダーたる人物。</li> <li>2.日本文化及び琉球文化に専門的な知識・能力を持ち、多文化共生を目指して次世代に継承できる人物。</li> <li>3.高度な情報収集能力と的確な自己表現力によって、現代社会の諸課題を解決できる人物。</li> <li>4.地域のリーダー及び教育者として、優れた思考力・判断力・表現力等を有し、適切なコミュニケーション能力によって、文化の継承・伝達に貢献できる人物。</li> </ol> <p>英米言語文化学科（公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/eibei/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/eibei/policy</a>） 英米言語文化学科は、本学科の教育課程において所定の卒業要件を満たした学生に対し、以下の資質を有するものと判断し、〈学士〉を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.実践的な英語運用能力。</li> <li>2.情報処理技術に関する基礎的知識とその運用能力。</li> <li>3.英語圏の言語や文化に関する専門的知識。</li> <li>4.多様な文化的背景を持つ人々と相互に協力し、自立的に判断し行動する力。</li> </ol> <p>社会文化学科（公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/syakai/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/syakai/policy</a>） 社会文化学科は、学科所定の教育課程を終え、学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を達成した学生を、以下の資質を有する人物と認め、学士を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.比較文化的観点に立脚し、フィールドワークに基づいた南島地域（沖縄及び周辺地域）研究の能力を習得した人物。</li> <li>2.地域理解能力と社会的コミュニケーション能力に長けた、問題解決型の人物。</li> </ol> <p>人間福祉学科（社会福祉専攻） （公表方法：<a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi/policy</a>） 社会福祉専攻では、高度化かつ多様化する国際社会において必要とされる基礎的技能を修得させ、社会福祉学の理論を基礎に、現場を重視した実践的教育を通して、福祉・医療・保健・教育の各分野で中核として活躍できる豊かな人間性と能力を兼ね備えた人材を養成し、その条件を満たした者に社会福祉学の学位を授与します。</p> <p>人間福祉学科（心理カウンセリング専攻） （公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi_mental/policy">https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi_mental/policy</a>） 人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、専攻所定の教育課程を終え、本学科の「人材及び研究上の目的」を達成した学生を、以下の資質を有する人物と認め、学士を授与し</p>

ます。

1. 人間のこころや行動を、生物学的、個人的、社会文化的要因の影響関係の中で理解することができる人物。
2. 実験、調査、観察などの実証的手法を通して、心理学的現象を論理的に考え説明できる力が身につけている人物。
3. 心理学的視座から現代社会における諸問題について関心を持ち、人とのつながりの中で実践的に問題解決していくことができる人物。

#### 教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：(全学)<https://www.okiu.ac.jp/about/policy>)

##### (概要)

日本文化学科 (公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/nihon/policy>)

日本文化学科は、「人材養成及び教育研究上の目的」を実現するため、以下の方針に基づいて正課教育を編成するとともに、正課外教育を展開します。

1. 各専門分野を学ぶ上で前提となる基礎的な思考力、言語運用能力、情報検索能力などのアカデミックスキルを習得するための「基礎科目」を設置します。
2. 各専門分野における学問体系の基本を理解し、知的好奇心を高めるための「導入科目」を設置します。
3. 各専門分野における諸課題について深く学ぶための「応用科目」を設置します。
4. 論理的・批判的思考力や課題探究力を養い、卒業論文を作成するための「ゼミナール」を設置します。
5. 各専門分野で学んだ知識・技能を総合的・実践的に活用する力を養うための「プロジェクト科目」を設置します。
6. 各種行事やオリエンテーションなど、本学科の教育目標を理解し、他者との多様な関わりを経験するための「ラーニングコモンズ (共に学び合う空間)」を設置します。

英米言語文化学科 (公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/eibei/policy>)

英米言語文化学科における教育目標は、「国際社会において求められる実践的英語力と情報処理技術を身に付け、多様な文化的背景を持つ人々と対話・交流しながら広い視野で考え、自立的に行動できる人材」を育成することです。この目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成します。

1. 英語コミュニケーション能力を養う科目の提供。
2. 英語の4技能を総合的に鍛える科目の提供。
3. 情報処理技術の基礎について学ぶための関連科目の提供。
4. 英語圏の言語や文化について専門的に学ぶための発展科目の提供。
5. 理解力・創造力・プレゼンテーション力・論文作成能力を養うための少人数制演習科目の提供。
6. 観光・ビジネス分野において活用可能な実用的英語科目の提供。
7. 英語教員を目指す者を対象とした、英語教育領域に関する専門科目の提供。
8. 日本語教員を目指す者を対象とした、日本語教育領域に関する専門科目の提供。

社会文化学科 (公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/syakai/policy>)

社会文化学科は、沖縄国際大学の「カリキュラム・ポリシー」を踏まえ、学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を実現するために、以下の方針に基づいて正課教育を編成し、正課外教育を展開します。

1. 本学科で学ぶために必要な技能や思考、及び南島地域に関する基本的な知識を習得するための「導入科目」の提供。
2. 専門分野における学問体系の基本を理解するための「基礎科目」の提供。
3. 専門分野における個別テーマについて深く学ぶための「発展科目」の提供。
4. 語学能力を向上させつつ、比較文化的観点の育成をめざすための「異文化理解科目」の提供。

5. フィールドワークを実践し、地域理解能力の向上を図るための「実習科目」の提供。
6. 専門分野における調査・研究能力を育成し、卒業論文作成を目的とする「演習科目」の提供。
7. 本学科での学びの意図を理解する機会としてのオリエンテーション、異学年交流をはじめ多様な他者との関わりを経験する各種行事など「正課外教育」の提供。

#### 人間福祉学科（社会福祉専攻）

（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi/policy>）

社会福祉専攻では、以下の三つの視点を重視して正課教育を編成するとともに、正課外教育を展開します。

##### 1. 社会福祉専門職を養成する教育

現在、社会福祉の現場では、医療・保健・福祉の連携がいつそう求められるようになり、他の専門職と協働していく専門性が必要とされています。このような社会福祉従事者の専門職化に対応するためのカリキュラムを重視し、社会福祉に関する科目を開設して、福祉問題に効果的に対応できる能力を養います。

##### 2. 実践的活動を重視した教育

理論的な学習はもとより、学生自身の実践的な活動を重視する意味から、ボランティア活動および実習体験に積極的に参加させます。学内の「福祉・ボランティア支援室」等を通して学生の実践的活動を支援し、地域への貢献を奨励すると同時に奉仕の精神を育てます。

##### 3. 国際性を育てる教育

国際化に対応する教育の一環として、ホームステイ、現地の施設やコミュニティ組織との交流やボランティア活動などを行い、他の国の社会福祉制度や生活にふれる学習を通して国際性を育てます。

#### 人間福祉学科（心理カウンセリング専攻）

（公表方法：

[https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi\\_mental/policy](https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi_mental/policy)）

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「カリキュラム・ポリシー」を踏まえ、本専攻のディプロマ・ポリシーを実現するために、以下の方針に基づいて正課教育を編成し、正課外教育を展開します。

1. 人間のこころや行動を理解するための心理学の知識と技術を学ぶ専門科目。
2. 心理学的現象を論理的に考え説明できる力（論理的思考力、問題解決能力、表現力）を身につけるための、実験・観察・調査などの実証的研究法を学ぶ専門科目。
3. 現代社会における諸問題に関心を持ち、課題解決に役立つ傾聴力、共感性、対人援助力を身につけるため臨床心理学の実践的な知識と技法を学ぶ専門科目。
4. 心理学および臨床心理学への関心を高め、その知識と技法を社会生活に応用する力を身につけるための実践的・体験的実習を重視した専門科目。
5. 心理学および臨床心理学の知識と技法をもって社会貢献できる力を身につけるため、多様な他者と関わりながら協働するプロジェクト（学生コミュニティづくり、地域支援）参画の機会を提供する正課教育や正課外教育・活動。

#### 入学者の受入れに関する方針(公表方法:(全学)<https://www.okiu.ac.jp/about/policy>)

(概要)

日本文化学科（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/nihon/policy>）

日本文化学科は、日本文化及び琉球文化への造詣を深めることを教育上の目的としています。具体的には、言語学・文学を中心とする理論的、かつ実践的な教育を通して、国際社会、情報社会、地域社会の中で自己の役割を深く認識し、生き生きと実践できる人材、そして、豊かな知性、分析力、情報処理能力、表現力、コミュニケーション能力、共生能力を備えた人材を育てていきます。

日本文化学科は、以上の学科の教育目標と沖縄国際大学のアドミッション・ポリシーに

照らし、次のような志願者を求めます。

1. 言語学・文学を中心とする日本文化及び琉球文化、またグローバル時代に求められる多様なコミュニケーションについて主体的に学ぼうとする意欲・関心をもつ人
2. 1.の学びを深めるための基礎学力をもつ人
3. 地域社会、国際社会、多文化社会、高度情報社会の中で生じるさまざまな課題を解決するために必要となる、基礎的な思考力・判断力・表現力(読解力を含む)を身につけている人

特に、A0型入学試験では、上記の3項目に加えて、以下のような能力・意欲と基本的な学習習慣をもった志願者を求めます。

1. 批評・創作を含む広い意味での表現活動、知的好奇心を深める豊かな読書活動、琉球文化の継承発展に関する活動、国際交流活動などの領域で優れた実績を上げ、大学生活の中で、さらに深めようとする人。
2. 国語科教員、日本語教員、図書館司書(学校司書を含む)、司書教諭などの当学科の専門領域に関わる職業に深い関心を持ち、それを通じて社会貢献を目指す人。
3. ボランティア活動、課外活動(スポーツ、文化活動ほか)などを通して、広い視野(多様性)やコミュニケーション能力を備え、大学での学びに生かそうとする人。

英米言語文化学科(公表方法:<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/eibei/policy>)

英米言語文化学科は、沖縄国際大学のアドミッション・ポリシーおよび学科の教育目標に照らし、以下のような志願者を求めます。

1. チャレンジ精神と意欲に満ちた人物。
2. 英語力の向上に積極的に努力する人物。
3. 英語圏の言語や文化に強い関心を抱く人物。
4. 他者とのコミュニケーションを大切にし、理想的な人間関係の構築に努力する人物。

英米言語文化学科は、言葉と人間との深いかかわりについて学び、言語や文化の多様性を理解することをモットーにして、世界の人々と対話・交流するために必要な「真に国際的に通用する実践的な英語力」と、益々グローバル化する社会に対応できる「情報処理技術」を身につけた人材の育成を目指しています。

特に、A0型入学試験では、次のような学生を求めます。

1. チャレンジ精神と意欲に満ちた人。
2. 地域や社会活動に関心のある人。
3. 語学と異文化理解能力を身につけ、国内外で活躍したいという志を持った人。
4. 英検2級程度の英語力のある人が望ましい。

\*二次審査では、日本語による面談のほかに、英語による5分程度の面談も行います。

社会文化学科(公表方法:<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/syakai/policy>)

社会文化学科は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通りに具体化し、「沖縄」と「人間」について学ぶ意欲と関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人材を求めます。

1. 沖縄を理解するための知的好奇心と知的探求心をもつ人物。
2. 沖縄をとりまく世界の社会や文化の動きに深い興味と関心をもつ人物。
3. 沖縄をとりまく世界の問題と向き合うための基礎学力を有する人物。
4. 自らの問題意識のもと、フィールド(現場)に出て積極的に情報を集め考え判断し、主体的に行動することができる人物。
5. 国際交流・地域・ボランティア・文化・スポーツなど学内外の活動に主体性と協調性をもって取り組める人物。

A0型入学試験では、上記の5項目のうち、特に1、4、5の各項目を重視します。

具体的には、項目1については、「知的好奇心」や「知的探求心」を、大学生活の中でどのように発揮しようと考えているのかを説明できることを求めます。

項目4、5については、これまでの実績を具体的に説明できることを求めます。



人間福祉学科（社会福祉専攻）

（公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi/policy>）

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物。
2. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
3. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。

上記に加えて、AO型入学試験では、以下のいずれかに該当する学生を歓迎します。

1. 社会的マイノリティーの問題を自分の問題として考えられる人。
2. グローバルな視点をもつ人。
3. 知的探求心と批判的な思考力を培い、積極的に社会に参画したい人。
4. 他者の個性、多様性に寄り添い、他者と一緒に社会の状況を正しく認識し、問題解決のためのスキルを身につけたい人。
5. リーダーシップを発揮できる人。また、自分や他者を肯定的に捉えることができる人。
6. 他者と協調、共創するコミュニケーション能力を持つ人。

人間福祉学科（心理カウンセリング専攻）

（公表方法：

[https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi\\_mental/policy](https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi_mental/policy)）

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通り具現化し、人間のこころに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物を求めます。

1. 人間の「こころと行動」と「人と人とのつながり」について学ぶ意欲と関心を持つ人物。
2. 大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物。（自分を成長させようという意欲と態度を持つ人）
3. 人間のこころや行動の成り立ち、働きについて、心理学的な立場からの的確に理解し、日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物。

AO型入学試験では上記に加えて、

1. 人間のこころについて科学的な視点（実験・調査・観察・統計など）から学ぶ意欲のある人。
2. これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野が、大学で学びたいことに結びついている人を求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/infomation>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
法学部	—	14人	8人	4人	0人	0人	26人
経済学部	—	14人	6人	6人	0人	0人	26人
産業情報学部	—	13人	4人	8人	0人	0人	25人
総合文化学部	—	25人	19人	9人	0人	0人	53人
附属研究所	—	1人	0人	0人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		277人					277人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://www.okiu.ac.jp/infomation/teacher">https://www.okiu.ac.jp/infomation/teacher</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
ファカルティ・ディベロップメント委員会において、FD関連活動の計画を立て実施している。主な活動は、FD支援プログラム、FD研修会、TA・SA事業の実施、授業アンケート実施がある。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
法学部	220人	252人	114%	892人	1,026人	115%	6人	0人
経済学部	230人	264人	114%	940人	1,115人	118%	10人	7人
産業情報学部	230人	268人	116%	940人	1,132人	120%	10人	4人
総合文化学部	465人	531人	114%	1,944人	2,176人	111%	42人	4人
合計	1,145人	1,315人	114%	4,716人	5,449人	115%	68人	15人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
法学部	232人 (100%)	2人 ( 0.9%)	132人 ( 56.9%)	98人 ( 42.2%)
経済学部	264人 (100%)	4人 ( 1.5%)	199人 ( 75.4%)	61人 ( 23.1%)
産業情報学部	233人 (100%)	2人 ( 0.9%)	181人 ( 77.7%)	50人 ( 21.4%)
総合文化学部	487人 (100%)	25人 ( 5.1%)	278人 ( 57.1%)	184人 ( 37.8%)
合計	1216人 (100%)	33人 ( 2.7%)	790人 ( 65.0%)	393人 ( 32.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) <進学先>沖縄国際大学大学院 (就職先) 卸売・小売業、情報通信業、サービス業、公務員				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
法学部	266人 (100%)	208人 ( 78.2%)	7人 ( 2.6%)	36人 ( 13.5%)	15人 ( 5.6%)
経済学部	284人 (100%)	220人 ( 77.5%)	15人 ( 5.3%)	31人 ( 10.9%)	18人 ( 6.3%)
産業情報学部	277人 (100%)	190人 ( 68.6%)	15人 ( 5.4%)	39人 ( 14.1%)	33人 ( 11.9%)
総合文化学部	560人 (100%)	407人 ( 72.7%)	18人 ( 3.2%)	95人 ( 17.0%)	40人 ( 7.1%)
合計	1,387人 (100%)	1,025人 ( 73.9%)	55人 ( 4.0%)	201人 ( 14.5%)	106人 ( 7.6%)
(備考) その他：休学等により修業年限に達していない学生					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画(シラバス)作成について学内電子掲示板にて、記入要領を添付し、依頼を行っている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学則で定めているほか、シラバスでも評価項目を設けて厳格かつ適正に単位授与を行っている。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
法学部	法律学科	124 単位	㊦・無	40 単位
	地域行政学科	124 単位	㊦・無	40 単位
経済学部	経済学科	124 単位	㊦・無	40 単位
	地域環境政策学科	124 単位	㊦・無	40 単位
産業情報学部	企業システム学科	124 単位	㊦・無	40 単位
	産業情報学科	124 単位	㊦・無	40 単位
総合文化学部	日本文化学科	124 単位	㊦・無	40 単位
	英米言語文化学科	124 単位	㊦・無	40 単位
	社会文化学科	124 単位	㊦・無	40 単位
	人間福祉学科	124 単位	㊦・無	40 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : <a href="https://www.okiu.ac.jp/education/fd_activity/questionnaire">https://www.okiu.ac.jp/education/fd_activity/questionnaire</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <a href="https://www.okiu.ac.jp/campus_life/campusmap">https://www.okiu.ac.jp/campus_life/campusmap</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
法	法律	610,000 円	120,000 円	200,000 円	その他： 施設設備資金 200,000 円  会費等 (代理徴収)： 後援会費 12,000 円 体育会費 2,500 円 文化会費 2,000 円 校友会費 20,000 円 学生保険料 4,660 円 計 41,160 円  初年度納入金 971,160 円 (左記の費用に会費等を含む)
	地域行政				
経済	経済				
	地域環境 政策				
産業情報	企業システム				
	産業情報				
総合文化	日本文化				
	英米言語				
	社会文化				
	人間福祉				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p><b>【学生課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外でおこなうゼミナール活動における諸経費の補助</li> <li>・身障者用駐車場の利用案内</li> </ul> <p>(学生支援室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時、聴覚障害学生へのノートテイカーや身体障害学生への代筆サポーターの配置</li> <li>・教員が授業時に使用する視聴覚教材 (DVD/CD 等) の文字おこし</li> <li>・学生サポーター育成のためのノートテイク養成講座や勉強会の開催</li> <li>・障害学生支援、ボランティア活動に関心のある学生への情報提供</li> <li>・障害学生の授業への配慮願い作成に伴う当該学生や関係者との連絡・調整</li> <li>・教職員の支援方法に関する相談対応</li> <li>・障害学生への定期面談</li> <li>・障害学生が留学やインターンシップ等を行うにあたり、関係部署・機関との連携</li> </ul> <p><b>【学務課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィス・アワー、アカデミック・アドバイザー制度</li> <li>・オリエンテーションの実施</li> <li>・国内協定校への派遣</li> <li>・単位認定制度</li> <li>・対面朗読室 (視覚障害学生への支援) の対応</li> </ul> <p><b>【教学課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TA・SA制度</li> </ul> <p><b>【図書館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生図書館オリエンテーションの実施</li> <li>・図書館ワークショップ (ステップアップガイダンス) の実施</li> </ul>

b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 業界研究ガイダンス、常駐キャリアアドバイザーによる支援（相談・自己分析等） 学内個別企業説明会、学内合同企業説明会、本学主催インターンシップ等
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 【健康相談室】 ・定期健康診断の実施 ・登校中や学内でのケガや体調不良の学生への応急処置 ・学校医による健康相談の実施 ・身長、体重、血圧などの計測対応 【キャンパス相談室】 ・学生面談、保護者相談、教職員コンサルテーションなどを通じた心理的支援

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.okiu.ac.jp/infomation>